

## 令和 7 年度療育講演会について

1. 開催日時：令和 7 年 10 月 17 日（金） 17：30～19：00
2. 開催場所：八雲町総合福祉施設シルバープラザ ふれあいホール
3. テーマ：発達障がいの特徴と子どもの将来に必要なこと
4. 講師：医療法人社団倭会 三恵病院  
医療と福祉・こころのセンター「ラポール・クオーレ」  
センター長 成田 昭仁 氏（精神保健福祉士・社会福祉士）

講師ご自身の医療と福祉の視点でかかわってきた事例をもとにライフステージに応じて生活、環境、対人関係から生じる特性（二次障がい）や子どもの将来に必要な対話や成長、自立についてお話しくださいました。

5. 参加者：65名（センター職員含）一般市民・保護者・福祉関係者・保育士・幼稚園教諭等
6. アンケート結果（意見・感想を一部ご紹介します）

参加者	意見・感想
保護者	「誰もわからない」その心の痛みが子どもでも大人でも認知症の方でも増大し、二次障がいに繋がります。不安や緊張も同じです。 社会生活に疲れ、自分の世界に入りすぎて昼夜逆転…だから疲れすぎないように見守り、目配りが大切で社会参加、役割作りが大切だと改めて思いました
保護者	・ASD の理解を向上（相互理解）について困っている。トライ&エラーは分かるが、すべてエラーとなる。成功体験があれば頑張れる
福祉関係者	発達障がいについての知識はいろんな場所で得ることができますが、実際に支援者として関わっている人の事例等を聞ける機会がとてありがたかったです。いろんなケースがあり、それに対してどのようにアプローチしているのか知れて良かったです。
福祉関係者	人に支援をしていく上での考え方にやさしさを求めたいが、職員によっては支援で壁に当たる。知識や体験談を今回のように伝えることが出来れば、親も支援者もすごく今後のためになるかと思いました。
保育所・幼稚園関係者	障がいの特性や支援ができる施設など様々なことを学びました。事例も聞くことができ具体的な場面、様子、関わり方を知ることができました。発達障がい関係なく人を知ることや適応力、適性を高められるよう今後の保育にいかしたいです。
保育所・幼稚園関係者	とても分かりやすくて良かったです。 引き出しをたくさん準備しておく…それがとっても難しく感じていますので、次は引き出しのなかみ（事例）をたくさん知りたいなと思いました。